

ひろの

議会だより



秋空にひびけ! 鼓笛隊♪ (幼稚園運動会)

P2 平成28年度決算・復興事業の成果を認定

P10 更なる復興・再生に向けて (9月補正予算)

P14 よりよい生活環境のために 5議員が町政を問う(一般質問)

No.135

平成29年10月20日発行

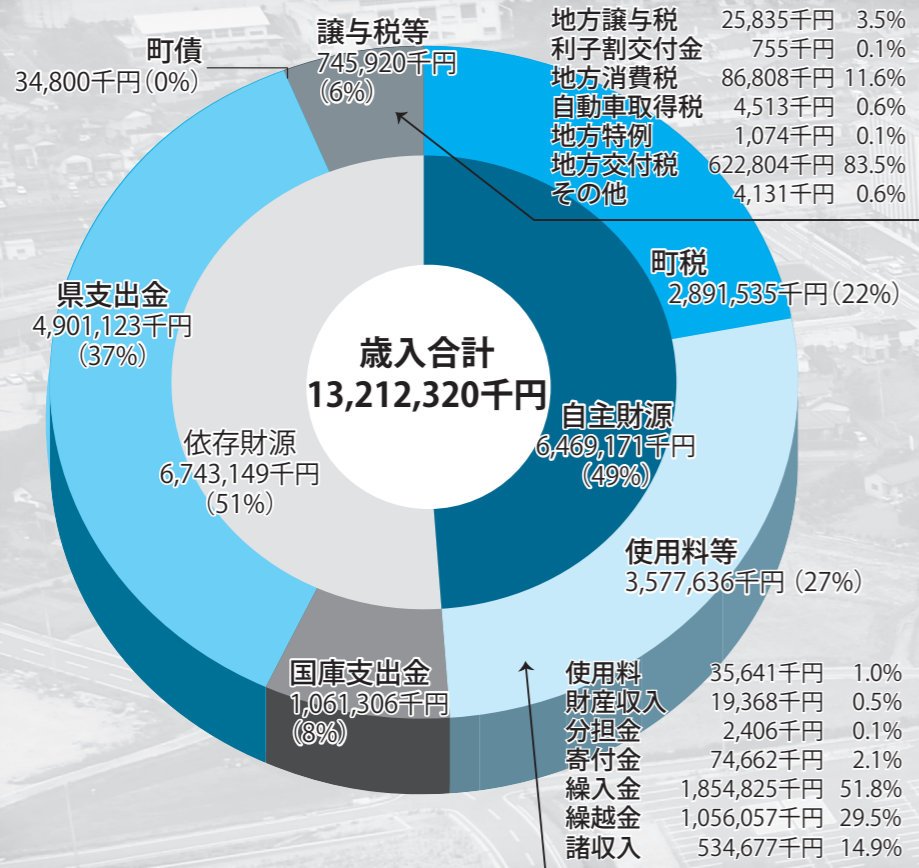
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

28年度決算

復興事業の成果を認定

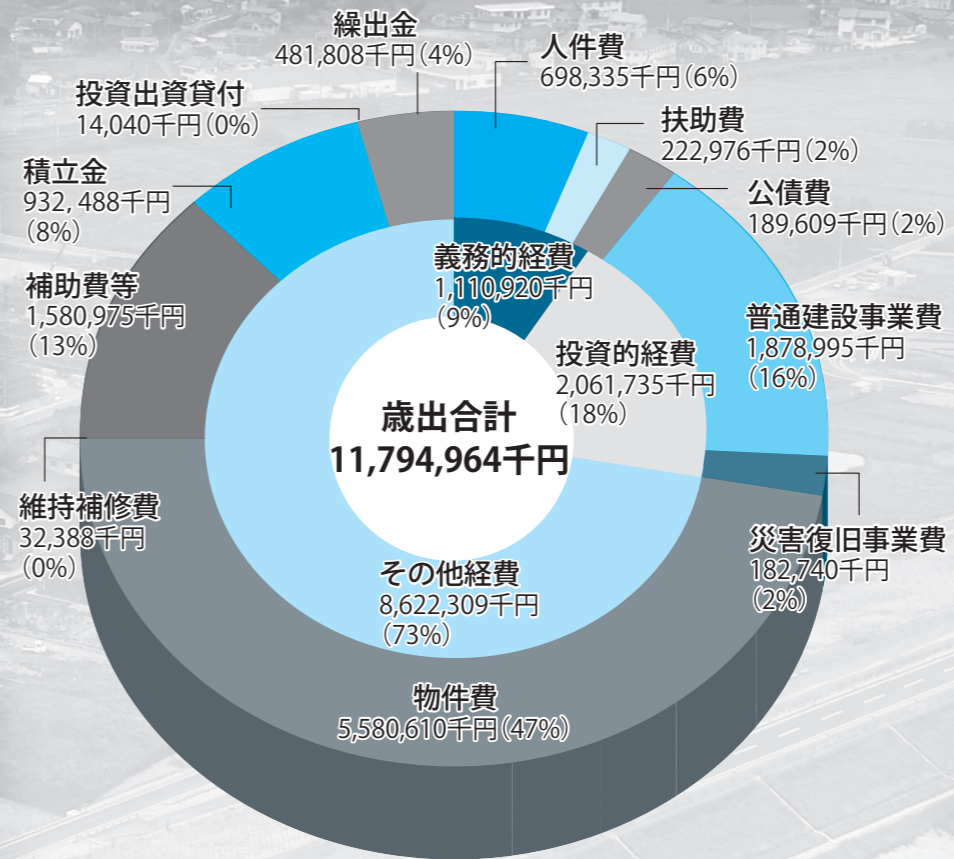
決算の内訳



一般会計歳出

117億9,496万4千円

前年比 28.14% 減



平成29年9月定例会を9月12日から15日までの会期で開きました。今回は、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算案など、提出された22議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成28年度一般会計及び6つの特別会計を認定しましたが、町税の減収、今後の財政運営や収入未済額の縮減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

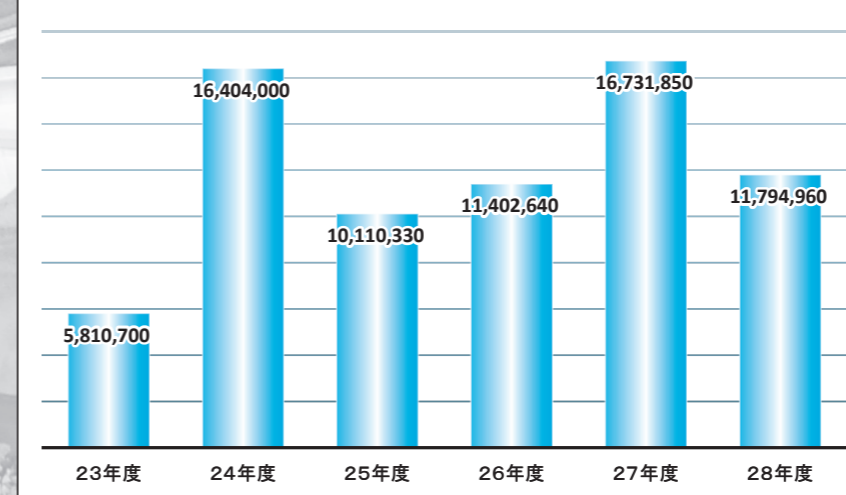
なお、一般質問では、5人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。

各会計の決算状況

(単位：円)

会計別	予算現額	決算額		歳入歳出差引額 (形式収支) (A)	翌年度へ繰り越 すべき財源 (B)	実質収支 (A) - (B)
		歳入総額	歳出総額			
一般会計	13,352,750,000	13,212,319,882	11,794,963,981	1,417,355,901	193,975,000	1,223,380,901
特別会計						
国民健康保険	1,136,145,000	1,142,751,253	1,036,835,245	105,916,008	0	105,916,008
土地開発事業	350,570,000	303,914,017	274,487,626	29,426,391	0	29,426,391
公共下水道事業	432,178,000	353,760,085	257,886,029	95,874,056	31,591,000	64,283,056
農業集落排水事業	30,633,000	30,970,532	27,262,778	3,707,754	0	3,707,754
介護保険	496,289,000	498,563,922	457,047,966	41,515,956	0	41,515,956
後期高齢者医療	18,908,000	18,964,998	18,679,347	285,651	0	285,651
小計	2,464,723,000	2,348,924,807	2,072,198,991	276,725,816	31,591,000	245,134,816
合計 (C)	15,817,473,000	15,561,244,689	13,867,162,972	1,694,081,717	225,566,000	1,468,515,717
平成27年度決算額 (D)	22,480,084,000	21,276,435,361	19,298,234,710	1,978,200,651	591,524,000	1,386,676,651
比較増減 (C) - (D)	△6,662,611,000	△5,715,190,672	△5,431,071,738	△284,118,934	△365,958,000	81,839,066
比較増減 (%)	△29.64	△26.86	△28.14	△14.36	△61.87	5.90

過去6年間の一般会計歳出決算の推移



○電気・水道料等生活支援
給付金
○地域振興券



8億
7,586
万円

町民の生活安定及び復興・再生の推進を目的として生活支援給付金を支給し、また、住民の早期帰還・生活再建やブランド・イメージ回復を目的として地域振興券を交付しました。

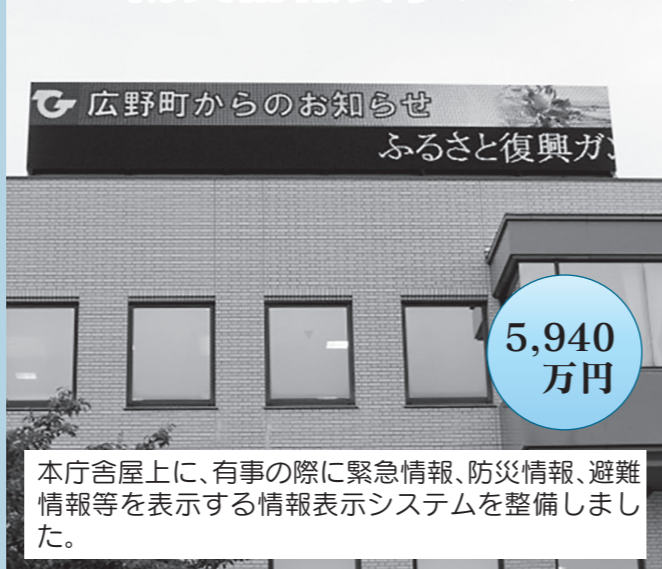
ため池放射性物質対策



6,160
万円

原発事故によって農業水利施設であるため池の機能保全・回復を目的とした放射性物質対策を実施しました。

LED 防災情報表示システム



5,940
万円

本庁舎屋上に、有事の際に緊急情報、防災情報、避難情報等を表示する情報表示システムを整備しました。

プレミアム付事業再開・
帰還促進券



3,339
万円

地域経済の活性化と住民の帰還へのきっかけとするためプレミアム付商品券を発行しました。

敬老祝金支給



915
万円

9月に中央体育館で敬老会を開催し、70歳以上を対象に敬老祝金を支給しました。

28年度決算
注目事業

予算が適正に執行されたか、定例会で慎重審議し、すべての会計決算が認定されました。その中で、議会が注目した主な事業を紹介します。

決算額は、28年度のみのものであり、全体事業費ではありません。複数年事業のものもあります。

スクールバスの運行



1億
2,794
万円

広野小・中学校へ通学する児童生徒のスクールバスを運行しました。

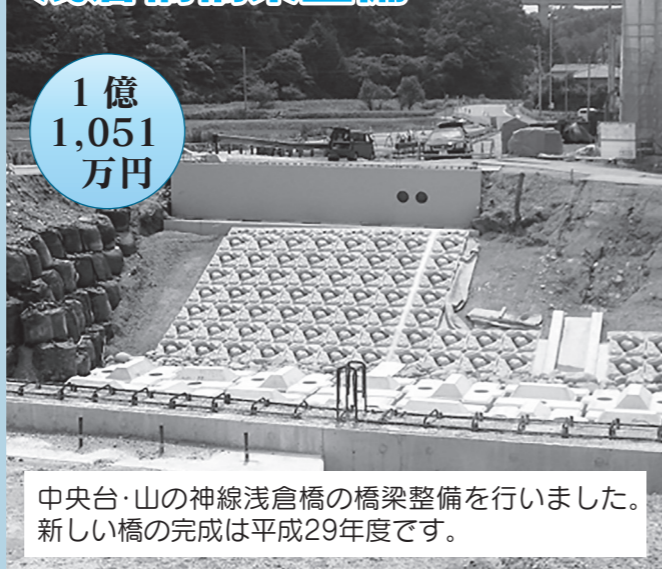
中学生海外教育交流派遣事業



1,430
万円

8月に広野中学校2年生22名がカナダを訪問し、活発な交流を図りました。

浅倉橋橋梁整備



1億
1,051
万円

中央台・山の神線浅倉橋の橋梁整備を行いました。新しい橋の完成は平成29年度です。

第2期災害公営住宅整備



3億
4,879
万円

東日本大震災により被害を受け家屋を失った方の住宅確保のため整備しました。

予算執行の成果を次年度予算に反映

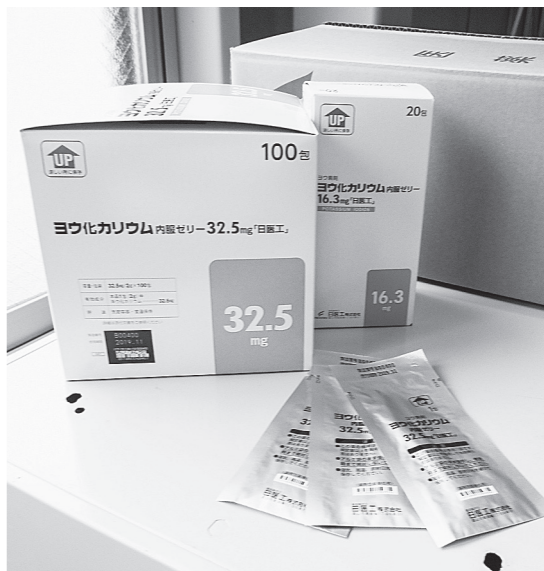
委託料の積算方法は

北郷幹大議員

どの課においても委託料の不用額が大きい金額で出ているが、委託料の積算というのはどのような形で行うのか。

大和田総務課長

予算編成時に見積もりをいただいで、精査し予算計上するものがございますが、どうしても予算額との差が出てしまう事業があります。予算編成時に予算の積算をもう少ししっかり積算して計上するように努めていきます。



保管されている安定ヨウ素剤

「コミュニティ」助成金の実績は

小磯利雄議員

「コミュニティ」交流事業助成金について、平成28年度の実績はどのようなになっているのか。また実績をあげることはできないか。

大和田総務課長

行政区長を通して32件の申請があり、対象者は601人となりました。地域のコミュニティをより深めることは大変なことと考えており制度活用の周知を図っていきたいと考えております。

賠償金は請求額の100%か

小磯利雄議員

東京電力からの賠償金ということで、1億9千万円の内訳を教えてください。また、請求金額の100%となっているのか。

大和田総務課長

の額が約9千8百万であり、約2億4千万円です。東京電力に一般会計として請求している額は、約2億4千万円であり一部、請求を認められていない部分があります。

一般会計

安定ヨウ素剤の配布は

阿部憲一議員

北朝鮮からミサイルが発射され、いつ何時あるか分からない状況が客観的に予想されており、また原発もあります。安定ヨウ素剤を現実に配付するべきではないか。

鯨岡環境防災課長

配付するには問題点があり、まず紛失、それから誤飲もあります。また、安定ヨウ素剤の服用については、国、県、市町村の指示のもとに服飲しなくてはなりません。また、妊婦の方、障がい

国民健康保険特別会計

県に移管後の滞納対策は

北郷幹大議員

医療給付費について、収入済み額が1、500万円に対し未収入が624万円と4割以上計上されています。来年度、町から県へ移管された場合、事務手続きはどのようになるのですか。また、滞納に対する対策はどのようにしているのか。

遠藤町民税務課長

来年度広域化にはなりません、税の賦課徴収については町が行い、徴収した税を県へ納付金という形で納めることとなります。なお今年度の医療給付費の徴収率は70・7%となっており前年度の62・45%から若干の改善はみられています。対策としては、保



昨年の健康ウォーク

険証を1年分渡しますが、滞納があった場合は翌年の保険の切り替え時に保険証を送付せず、役場の窓口に来ていただいで、まずは納税相談をしていただき、分納誓約をしていただきます。

その際、滞納分に係る金額のうち、持ち合わせの現金を支払っていただき、滞納分の誓約に従わない場合は、短期保険証の発行となり、どうしても納めていただけない場合には資格証明書の発行となります。

塩 史子議員

国民健康保険税についてかなり収入未済額が多いですが、一番多い医療給付費分滞納線越分の理由は何ですか。

遠藤町民税務課長

医療給付費分滞納線越分は、過去20年以上の積み重ねで高額になっています。

決算審査意見



監査結果を報告する 黒田惣一代表監査委員

平成28年度における当町の財政状況は、広野火力発電所の大規模償却資産税が大幅に減少したものの、東日本大震災による特別交付税により比較的ゆとりある財政運営であるが、大規模償却資産税は、次年度以降の遞減が見込まれることから、限られた財源の中で、事業の必要性、緊急性及びその効果等を十分に考慮し、計画的な財政運営と重点的かつ効率的な財源配分に努められたい。

また、国民健康保険や介護保険といった2特別会計の医療や介護に対する給付費については、前年度よりは減額しているが、依然として高い水準で推移しています。

保健事業や福祉事業等の成果を再検証するとともに、歳入面では転入者からの国民健康保険税や介護保険料のしっかりとした徴収事務を行い、歳出面では事務事業の見直しを図り、予防医療・予防介護の充実・拡充に努めて疾病を未然に防ぐ事業を引き続き実施され、結果的に歳出の削減に繋がるような施策を積極的に展開されることを強く望みます。

以上、災害の復興・再生と町民福祉の増進、町政発展のため、なお一層安定した財政基盤の確保及び構築に努められることを求めます。

全会一致で可決

更なる復興・再生に向けて

財政調整基金積立金など

一般会計と5特別会計合わせて 6億5635万円を追加補正

今回の補正は、財政調整基金積立金（町の貯金）などが主な内容となりました。これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ5億387万円追加され、総額で97億1278万9千円となりました。

補正の結果

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	5億387万円	97億1278万9千円
国民健康保険特別会計	2591万6千円	11億8511万6千円
土地開発事業特別会計	8235万5千円	5億2290万4千円
下水道事業特別会計	24万9千円	2億4808万4千円
介護保険特別会計	4367万6千円	5億3457万6千円
後期高齢者医療特別会計	28万4千円	2131万4千円

補正予算に関する質疑

海抜表示の設置を要望しては

門馬 巧議員

津波避難場所誘導表示シール作成は理解しますが、下北迫前川原地区周辺は津波浸水を受けたため、海抜表示を国交省あるいは県の方に要望して設置することはできないか。

鯨岡環境防災課長

当町の東側エリアについては、復興企画課で避難誘導の表示をしているところでありませんが、今後、復興企画課、建設課と確認の上、協議し検討したいと思います。

インベーション・コースト構想の本町の実績は

小磯利雄議員

イノベーション・コースト構想の平成29年度現段階における本町としての実績はどの様になっているのか。

中津復興企画課長

生活を守る基盤整備であったり、バックオフィス整備という中で復興交付金事業等において整備を行っている状況です。

遠藤町民務課長

現在、復興庁へ補助申請中で、採択になった場合は直ちに着手し、今年度中の完了を目指しています。また、特定のシステムとの関連性は聞いておりませんが、GPS機能を使ったシステムとの連携は可能であると聞いております。

GISシステムの完成はいつなのか

小磯利雄議員

GISシステムの完成はいつか。また、「みちびき」という精度の高いGPSが打ち上げられているが、それらのシステムとの連動性はあるのか。

※GIS 地理情報システムを略して「GIS」と呼びます。町の様々な情報（地籍、家屋等）を総合的に管理するシステム。

ふるさと納税の返礼品について

小磯利雄議員

ふるさと納税の返礼品について、80件という大変厳しい実績の中で、残された1400袋についてこの様になっているのか。

渡辺産業振興課長

米穀等を取り扱う業者に町の米を買ってもらえないかと話をしてみました。価格については、町が農家から買上げる金額と同等で交渉し、買い上げていただけることになりました。この結果については各農家へ説明し、了解を得ております。

カメムシ防除の補助は

北郷幹夫議員

カメムシの防除を業者にお願いし、また自分で行った場所もあります。補助は事業者分と個人分と分けることは可能か。

渡辺産業振興課長

今年度は無人ヘリで防除を実施している区域や、薬剤を購入して散布している場所がありますが、薬剤の補助を考えています。ヘリ防除の中には薬剤費やヘリの操作費用等様々な経費が入っており、請求書の内容を確認して、見合った薬剤費の補助をしたいと考えています。



無人ヘリによるカメムシ防除作業

みかんクラブの位置づけは

塩 史子議員

みかんクラブが補助金の採択が受けられなかったとのことだが、もしもこの補助金があれば、どの様な位置づけになるのか。

猪狩生涯学習課長

これまでみかんクラブが担ってきた当町のスポーツ分野における功績は非常に顕著であり、現在も年間延べ4千名以上が活動しており、今後も、現状を維持しながら財政に圧迫が生じないように事業内容を精査し継続させたいと考えます。



熱戦を繰り広げるMIKANカップフットサル大会

広洋台への町の対応は

北郷幹夫議員

富岡町の方が所有していたものを町に買い上げてほしいとのことだが、この区画には建物はなかったのか。また、広洋台には売地・売り家の看板があるが、町で買い戻すものはこの1件だけか。

中津復興企画課長

土地だけで建物は建てられません。また、新聞折り込み等で広洋台地区の土地・建物付きで売り出しになっている状況は承知していますが、町所有権の中で空き区画は有しておりません。

農業次世代人材育成 奨学金貸付条例を制定

広野町の農業振興と農業後継者を確保するため、その修学に必要な資金を貸し付けし、農業経営の安定とすぐれた農業の担い手の育成を図るため、新たに条例を制定する議案を可決しました。

農業の担い手の育成を図るため



後継者不足の中今年も収穫の秋を迎えた田園風景

対象となる補助者は

門馬まりえ議員
対象となる補助者というのには、例えば父親が農業を営んでいて息子が会社勤めしながら、父の農業を補助するという意味で捉えて良いのか。

渡辺産業振興課長
親子であっても給料を貰って生計をすることを考えており、現在町では個人で農業をしている方が多いところですが、会社組織にするとか法人として運営する形態を考えています。

他の奨学資金との違いは

遠藤 浩議員
町には同じように奨学資金の貸付と条例があり、経済的理由による就学困難な方々が対象とされている。卒業後の返還免除の措置はないが、今回の奨学金制度は就農から引き続き5年間農業に従事したときや農業経営の補助者として従事したときなどは、返還の責務を免除することができるとなっており、大分内容が緩和されていますが理由をお聞かせ願いたい。

渡辺産業振興課長
今回提案させていただいた制度については原則貸し付けし、返還していただくものですが、広野町ばかりでなく、全国的に農業後継者がいないという現状の中で、将来農業を担っていただく若者を育てて行きたいという観点から、農業に特化して担い手を育て、減免とする支給型で考えております。

就農・離農の確認方法は

門馬 巧議員
就農や離農の状況確認は傍証が良いのか。または、正式な書面となるのか伺いたい。

渡辺産業振興課長
年度末の確定申告で、就農の事実を確認する等、就農して収入を得ている状況を確認していきたいと考えております。

条例の一部改正 個人情報保護条例の一部改正

敬老会で長寿番付を配布しない理由は

塩 史子議員
敬老会の時、昨年まで配布されていた長寿番付が個人情報保護のため、今年から配布しないとの説明があったが、長寿番付は評判が良く、それを集める方が大勢いる。

また、いざ災害が起きたときに、あの辺にお年寄りや居たはずだと分かります。自治体独自の方法で配布できないものかと思えますが如何なものか。

大和田総務課長
運用するにあたって自治体に応じて対応するようにという考え方が示されており、各自治体の方に委任されている状況でありますので、担当課と協議して検討して行きたいと思っております。

人事案件に同意

広野町教育委員会委員に渡辺 昇氏を適任者とする事に同意しました。任期は、平成29年10月1日から平成33年9月30日までとなります。



渡辺 昇氏
(下北迫)

「全国森林環境税」の 創設に関する意見書を 採択

【要旨】

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要財源にあてるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求め、これを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森



提出者 遠藤 浩 議員
賛成者 渡邊正俊 議員
賛成者 小磯利雄 議員

林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

提出先

- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 総務大臣
- 農林水産大臣
- 環境大臣
- 経済産業大臣
- 衆議院議長
- 参議院議長

粘り強く対応nanjū 総務文教 広野駅東側開発

復興企画課長より説明を受け、各委員より、未来永劫ただの雑地となる土地が残るのではないかと、第2期開発地区は、初期の目標であった100%の用地取得ができるのか、用地取得委員会等を立ち上げ、用地取得を行えないか、土地の代替えが出来るか

い理由は、などの質疑がありました。町より、造成後にしっかりと区画を明確にして、地目変更等を行って行く。今年度、用地取得の予算を計上していることから、勢力的に用地取得にあたっては、代替え地といえども国の資金を導入し造成していることから、地権者でもあっても土地を分割して所有権を移転することが出来ない。

町長からは、用地取得委員会について、委員会を発足させ有識者のご意見をいただきながら、しっかりと前進して行くべく取り組んで行きたいとの説明がありました。

委員会としては、地権者の理解・同意を得られるよう粘り強く対応するよう要請しました。

計画に基づき進めるnanjū 総務文教 工業団地・東町地区産業団地整備事業

復興企画課長より説明があり、各委員より、東町の産業団地の道について運び出しの道路なら運搬を行う国で対応した方が得策ではないかと、放射性物質が置かれていた場所に企業が進出して来るのか見極めが必要、作業員の集積も検討してはどうか、広野工業団地は全区画埋まっているとの理解が良いか、東町の用地について排水路の整備構想はどう考えているのか、用地の空間線量率や土壌は本当に安全なのか調査すべきではないかなどの質疑がありました。

町より、町道として

認定していないと、様々な企業進出にあたって開発許可申請や誘致そのものが出来ない。町で舗装すべき時期については検討を要すると考える。双葉郡内の企業からすでに進出の要望が出ており、行政間で企業の情報を共有しながら連携を図って行きたい。除染仮置場は年間を通して空間線量と土質除染についても定期的に放射性物質の調査を行い管理しているとの説明があり、委員会としては、しっかりと計画に基づいて進めるよう要請しました。

委員会報告

各常任委員会の活動状況を報告します。

平成29年8月18日(金) 午前開催
平成29年8月18日(金) 午後開催

各常任委員会の活

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会



幼稚園運動会

利用者配慮した施設に 産業厚生 幼保連携型認定こども園整備事業

子ども家庭課長より説明を受け、各委員より、駐車場95区画あるが保健センター兼用か又、入り口が鋭角になっておりスムーズにならないのかお子さんが粗相した時の洗い場について、今回の敷地内上水道工事において町に負担金が発生するかの質疑がありました。

町より、駐車スペースは保健センター兼用であり、出入り口の施工については広めにとりたい、洗い場については各部屋の間にトイレを設置しており温水設備を備えている、本来上水道工事は水道企業が実施すべきであるが、今回の工事は送水管であり、町で施工後、企業団に移管との事前協議のもと町負担で実施しているとの説明でありました。

地域開発に繋がる幹線プランを 産業厚生 防災拠点・道の駅造成事業

建設課長より説明を受け、各委員より、町の税金1億7千万円で買収し無料で提供するのはいかがなものか、今後の2期工事予定とほ場整備との兼ね合いについて、町道関の上1号線幅員予定について、折木上下地域を開発を進めるのであれば、大きな幹線プランがあっても良いと思うがその計画等は立案されないのかについて質疑がありました。

町より、2年前「不足土対策協議会」が設立され、双葉郡・相馬各自自治体精査の結果、1千万円不足している状態で、積み込み・運搬経費が上乗せになる、土に関して県や各自自治体事業が必要であれば運んでいただいて、町は平らになった所を粗造成しながら町作りに繋がれば良い、現在1期工事を優先しその後になり、ほ場整備については県より連絡があり土質・必要量などについて協議中である。

町道関の上1号線について起点側の用地取得も踏まえ状況を見ながら進めて行く段階になっており、折木上下地区については国交省と協定を締結し、信号機ができるなど、交差点を活かしたいわき浪江線が高倉亀ヶ崎線との接続を計画しているとの説明でありました。

遠隔診療への取り組みは 産業厚生 高齢者対策

健康福祉課長より説明を受け、各委員より、緊急通報システム設置事業の利用対象者65歳以上1,433人に対して、利用者43人は少なすぎないか、さらに利用内訳、固定型17台、携帯型26台の選択方法及び委託事業者について、医療環境向上推進事業6月利用状況より35人利用で115万円使用、町外利用者状況について、昨今報道されている「遠隔診療」が東京・いわき・小高各病院で実施されているが、本町での取り組みについて質疑がありました。

町より、緊急通報システム設置事業利用者は少ない、さらに相談員・民生委員・福祉関係者とPRを進め利用拡大を図ります、通報機器選択は本人・家族の希望より選定、事業者は会津にあり週2回の電話確認より対応している、医療環境向上推進事業について今回6月のみ実績であり、年1,700万円の予算内で推移すると見込まれる、利用者35人中、町内28人、町外の作業員6人と川内村1人の計7人である、「遠隔診療」について県と協議したいとの説明でありました。



北郷幹夫 議員

町長施政方針における現状と課題は

町長／柔軟に対応・関係機関と協議し進める

北郷 町長施政方針で、本年度を「ふる里復興・再生」「前進の年」と位置付け、「いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町」の3つの項目を掲げ諸事業に取り組んでいくと表明されましたが、

①上半期における各々の事業の推進状況はどのようなになっていきますか。

②下半期に実施する主な事業は何ですか。

③事業を推進するに当たっての課題は有りますか。

町長 ①いのちを守る事業は、町内医療機関や住宅用防犯カメラの補助、また仮設減容化施設の解体工事、飛灰搬出を開始しました。

人を活かす事業は、テレワーク推進事業でスキル習得学習をしており、工業団地内の進出企業決定、駅東側ホテル起工式、ほ場整備推進委員への設計案の内容説明、森林整備等業務の発注を行い、またプレミアム付商品券を販売しました。

未来をつくる事業は、中学生のカナダ派遣、認定こども園整備



ひろの童謡まつり

事業に、保育に携わる職員や保護者の皆様のご意見を反映させながら進めています。

②10月にひろの童謡まつり、津波避難訓練11月にひろの秋まつり・文化展、12月に生涯学習発表会、来年1月に、ふる里ふれあいマラソンを予定しています。

③認定こども園工事の交付金申請について、状況によっては年度ごとに事業を分割して申請するよう求められる可能性がありますが、スケジュール通り進められるよう国と協議を進めます。

防災緑地広場へのトイレ設置とウォーキングコースマップの見直しは

町長／来年度の設置を予定・新たに策定

北郷 防災緑地は、が整備されて、海岸線の風景も素晴らしくウォーキングを楽しむ方が多数見受けられますが、

①防災緑地広場の駐車場にある仮設トイレの設置はどが行ったのですか。また、本設のトイレは設置されるのですか。

②平成21年3月に広野町ウォーキングコースマップが策定されていますが、見直しを図るべきではないですか。

町長 ①仮設トイレは、福島県で設置し、富岡土木事務所が管理をしております。また、平成30年度に本設のトイレ設置を予定しております。

②町民の皆様が楽しめるよう本計画策定に併せて、町の自然や歴史・文化・復興の息吹が感じられるコース等を選定し、新たに「広野町ウォーキングコースマップ」を策定いたします。



秋晴れの健康ウォーク

5人の議員が町政を問う 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いたすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成26年6月定例会
質疑
塩 史子 議員

ふるさと農道の整備に努めよ

原発事故以来、6号線やふるさと農道の交通量が増えています。まっすぐきれいな道路になれば、安全で通りやすくなるのでしょうか。

安全安心を担保できるよう進めたい

全体的な道路環境整備のあり方も踏まえて、努力していきたいと考えます。

●平成29年3月定例会
質疑
渡邊 正俊 議員

工事完了時期は

関山地内の農道の危険箇所を改良する工事の完了時期はいつ頃になりますか。

秋頃には完成させたい

直ちに予算執行できれば、4月頃を目途に発注をかけ、秋頃に完成するようにしたいと考えています。

見通し良く整備されました。

ふるさと農道（農道関山・寺所線）が整備され、自動車や歩行者が安全に通行できるようになりました。





門馬 巧 議員

小滝平浄水場改修に向けた展開は

町長／平成33年供用開始に向け着手

門馬 平成26年3月定例議会において、浅見川浄水場の整備について、町長は、当施設の老朽化が著しく、早期改修に向けて、関係機関と協議中であると述べているが、その後の展開はどのようなですか。

町長 本年3月に福島再生加速化交付金事業による改修事業の採択を受けたことから、平成33年4月の供用開始に向け、双葉地方水道企業団において実施設計に着手しました。

ニーズに応える対策を

町長／改善に向け取り組み強化

門馬 ひろのてらすの品揃えについて、満足いかないとの反響があります。

町長 そこで、改善を図り顧客のニーズに応えるために、アンケート等を実施してはいかがですか。

門馬 毎月、出店者との意見交換を行い、町に寄せられた品数、品揃えの面での要望について改善をお願いをしています。利用者へのニーズを把握し、より利便性の高い店舗環境の向上のため、連携を密に改善に向けた取り組みを強化していきます。

功績に対する感謝状贈呈は

町長／今後取り組みを検討

門馬 震災原発事故後において、我が身を省みず町民に最善の対応されました町内各医療機関の功績に対し、謝意を表するため感謝状等を贈呈することはできませんか。

町長 平成27年の町制施行75周年記念式典において、医療法人社団養高会 高野病院理事長 高野英男氏並びに馬場医院院長 小鹿山博之氏には、長年にわたる地域医療への感謝の意を表し表彰状、記念品の贈呈を行いました。その他の贈呈については今後検討させていただきます。

門馬 原発事故後、再開が不可能となつていますが、広域圏の環境衛生諸施設については、ほぼ再開されていますが、火葬場の再開については協議されているのですか。

町長 現在、建物や駐車場に損傷や陥没があり、停電による機器類の動作確認ができません。損傷程度、放射線量の環境変化など、様々な検討が必要であり、代替施設の整備も含め、早急に進めるべく、広域圏組合管理者会議で協議しております。

火葬場再開への協議は

町長／早急に進めるべく協議中



小滝平浄水場にある看板

高速バスの運行の充実を

町長／震災前の環境を取り戻せるよう対応

北郷 震災前の様な運行体制の充実を図れるよう要望できませんか。

町長 現在、町内からの高速バス路線は休止になっていますが、町民の交通手段拡大や利便性の向上を図ることは重要であり、双葉郡内自治体はもとより相馬地方自治体とも連携を密にし、震災前の環境を取り戻せるよう対応していきます。

サマーフェスティバル開催場所の検討を

町長／花火の場所や大きさを検討していく

北郷 今年の花火大会において観覧席に火花等が散乱し、危険を感じたため、場所等の変更を図ることはできませんか。

町長 花火の打ち上げに際しては周辺の状況や花火の大きさ等、安全対策を第一に双葉警察署、富岡消防署と協議を重ね実施してきました。来年度の開催にあたり、安全な花火大会開催の在り方と打ち上げ場所や花火の大きさ等、実施に向けて検討していきます。



迫力ある花火（サマーフェスティバル）

Jヴィレッジ再始動の要望

町長／ニーズに沿った事業展開を要望する

北郷 2018年夏に再始動する事になりましたが、話しを聞くところで行っていた子供たちのプール教室等が無くなるという事なので、県へ要望することはできませんか。

町長 震災前にあった子ども向けのプール教室等の事業を廃止にするとの情報は得ていませんが、リニューアル後の内容について、地域ニーズに沿った事業展開となるよう関係機関に対し要望していきます。



北郷伯弘 議員



阿部憲一 議員

阿部 ①これまでの国との賠償交渉について、この機関と、どのような内容の話し合いをして、月々10万円の精神的賠償はどういう理屈によつて広野町は対象外にされ、またどういうメンバーで決めたのか。

すか。②楡葉町以北と同等の賠償を懸命に勝ち取るうとすべきであるがいかがですか。

③震災・原発事故の時に広野町に住所があり、現在町外で避難する町民およびこれまでの死者は何人ですか。

町長 ①弁護士、学者等で構成する原子力損害賠償紛争審査会が、指針を策定し、東京電力株式会社

賠償格差の是正を前進させよ

町長／格差に対する要望活動と支援策への継続要望

が指針に基づき支払っておりますが、町村間における格差が生じていたことから、審査会事務局の文部科学省や関係省各大臣、東京電力株式会社に対し改善に向けた要望活動を行ってきました。

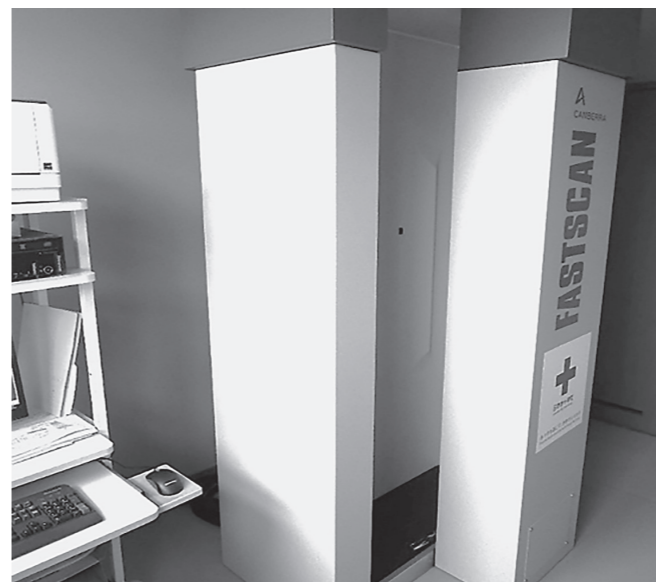
②繰り返し精力的に要望活動を実施しましたが、精神的損害賠償の拡充の交渉は実現不可能との結論に至りまし

た。

その上で自立に向けた生活再建支援制度の構築を要望し「福島県早期帰還・生活再建支援交付金」の創設に至りました。

今後もさらなる支援策が講じられるよう、継続して要望活動を進めていきます。

③町外に居住している町民の数は、767人、これまでの死者の数は、416人です。



内部被ばくを検査するホールボディカウンター

阿部 私が議員になつて定例議会、広野町における様々な放射能汚染・被曝の危険を具体的に指摘してきました。

今後、放射線障害が見えて来た時にどう責任を取るのですか。

町長 福島県が実施している、大気浮遊じん環境放射能測定や土壌の放射線モニタリング調査の結果により、被ばくのリスクは低く、今後の放射線障害については、少ないものと受けとめていることから、責任の所在を問う状況には無いと考えております。

放射線障害にどう責任をとる

町長／リスク低く、責任の所在を問う状況にない

イノベーション・コースト構想における実績と将来像の実現策は

町長／駅東側整備と新たな教育機関誘致

小磯 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故後、前期5カ年の「集中復興期間」から、後期5カ年「復興・創生期間」がスタートしました。初年28年度、本町に於けるイノベーション・コースト構想推進における

町長 ①駅東側に広野みらいオフィス、集合住宅ホテル等の整備、広野火力発電所においては、高効率石炭火力発電所（IGCC）の建設が進んでいます。

たな教育機関の誘致に向けて協議を進めています。

①生業や生活の再建・自立に繋がった推進実績をお尋ねします。

②本町における将来像の個別具体化・実現策を伺います。

②早稲田大学「ふくしま広野未来創造リサーチセンター」、東日本国際大学「いわき短期大学の「広野センター」を設置し、さらに、新

行制度」にて完成されたことはありますが。

③国・県・町民との「信頼関係」は成就されていますか。

町長 ①計画に基づき駅東側やひろのてらす整備、工業団地への企業誘致、ふくしま広野未来創造リサーチセンターなど様々な施策を展開しています。

②激甚災害復旧適用に向け権限代行制度運用は、実施していません。

③声を聴くことが最も重要であり、町政懇談会や住民説明会、町長への手紙により町民の皆様との信頼関係構築に努めています。

選挙公約の反映と信頼関係の成就是は

町長／様々な施策展開大切な声を届けている

小磯 ①選挙公約が町総合計画に十分反映され、目に見える形で結果が出ていますか。

②町事業であるべき災害復旧工事を「権限代

作業員宿舎の現状と政策的対策を

町長／開発抑制みられ、改善を図る

小磯 原発事故後、宿舎設置の減少が見えませんか。

①過去4年、年度別作業員宿舎数・作業員数の増減実績をお尋ねします。

②平成28年4月施行の「広野町まちづくりのための建築に係る手続き条例」の抑制効果は期待されましたか。

③作業員宿舎ゼロに向け、政策的エリアの見直しと、規制の強化をすべきではありませんか。

町長 ①平成25年は企業数80社、作業員数約3400人、26年は81社、約3000人、27年は80社、約3100人、28年は68社、約3200人、29年度は60社、約2500人となっています。

②条例は、法的申請行為の前に町へ事業計画の概要を報告することや、町・町民・建築主等が、相互に信頼し協力して行うことを定めているため、無届け開発や違法建築等の抑制効果は図られていると考えています。

③町民生活と企業の活動拠点の混在しない土地利用について計画を策定し、町有地内での整備を行い改善を図ることとしました。



小磯利雄 議員

7月24日（月）に第3回臨時会を開きました。
 ここでは、工事請負契約の変更契約2件、一般会計の補正予算について、全会一致で可決されました。

第3回臨時会

議決議案

- 議案第50号
工事請負契約の変更契約について（浅倉橋橋梁整備工事）
- 議案第51号
工事請負契約の変更契約について（北迫地区排水路（樋門）築造工事）
- 議案第52号
平成29年度広野町一般会計補正予算（第3号）

質疑

一般会計補正予算について

法人税を還付する理由は

北郷幹夫議員
 法人税を還付することの説明だったが、法人の数が少なくなつたために還付するのか、あるいは多く納めていた法人税を精算した結果多かったからの減額なのか確認したい。

遠藤町民税務課長
 28年度に中間納付した企業の決算が、3月31日事業年度終了に伴い確定申告書の提出があり、前年度予定納税した金額よりも決算時における法人税の納付額から算出した法人税額が減少したことにより、その差額分を返すものです。

傍聴においでください

次回の定例会は12月です

傍聴の手続きは、役場3階議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名を記入するだけです。

関心のある方は、お気軽に傍聴にお越しください。

なお、入場の際は録音機器の持ち込み禁止、携帯電話のマナーモードへの切り替えにご協力ください。



“ふる里復興・再生”への支援を要望



復興大臣室で吉野正芳復興大臣に要望書を手渡す

国及び東京電力HD(株)へ

要望書を提出

7月24日から2日間にわたり、議長を始め町議会議員及び町長と共に、関係省庁の大臣、政府与党の国会議員、東京電力ホールディングス(株)に対して、“ふる里復興・再生”への支援について”の要望書を手渡しました。

【要望先】

復興大臣	吉野正芳
内閣府現職災害現地对策本部長	経済産業副大臣 高木陽介
自由民主党東日本大震災復興加速化本部長	額賀福志郎
公明党代表	山口那津男

【要望事項】

1. 原子力災害に対する生活再建支援制度について
2. イノベーション・コースト構想の推進について
3. 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金の継続について
4. 廃炉・除染従事者の体系化について
5. 廃炉に向けた取り組みの着実な実施について
6. 新たなエネルギーの創出による復興の加速化について
7. スクールバスの運行支援の継続について
8. 小・中学校教諭の復興推進加配の継続について
9. JFAアカデミー福島（男子）の広野中学校での再開について
10. 福島県営農再開支援事業の基金積増及び事業の継続について
11. 農地・農業用施設維持管理への支援について
12. 国道6号、県道いわき浪江線、県道広野小高線の総合的な交通安全対策について
13. 追加除染について
14. 農業用ため池の放射性物質対策の拡充について
15. 除去土壌等の中間貯蔵施設への早期の安全・安心な輸送の実施について
16. ふくしま森林再生事業について
17. 「防災拠点・道の駅ひろの」の整備について
18. 風評払拭及び風化防止について

【要望先】

東京電力ホールディングス株式会社 代表執行役社長 小早川智明

【要望事項】

1. 福島第一原子力発電所等の安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報の提供について
2. 被害者や地域の実情を踏まえた賠償及び地方公共団体に係る賠償への対応について
3. 石炭ガス化複合発電（IGCC）設備の建設促進について
4. 広野町と東京電力ホールディングス（株）との協調関係の継続について
5. Jヴィレッジの早期再開について
6. 関連企業の事業所及び住居の町内への設置について

ま ちがと インタビュー



ふたば未来学園高等学校が開校して三年目 高校生活を振り返って、今、思うことは

今年度はじめて、一年生から三年生まで揃ったふたば未来学園高等学校。
今回は、第一期生として高校生活を送る三年生に、どんな日々を過ごしてきたのかお聞きしました。



まつもと さやか さん
松本 彩華 さん

私は第一期生として、ふたば未来学園に入学しました。雪が降るといって珍しい入学式から始まりましたが、三年間はあっという間でした。



双葉郡の高校の伝統を引き継ぐというプレッシャー、周囲の方々の期待を背負い過りました。

また、他の高校では経験できない取り組み、著名な方々の授業等、地域に根差した学び等、貴重で濃密な高校生活を送ることができました。



やすだ たかひろ さん
安田 卓弘 さん

ふたば未来学園での三年間は、とても有意義で濃密な毎日でした。双葉郡や福島について考える授業や海外での研修では、地域や自分をじっくりと見つめ、解のない過酷な課題でも自分なりの解を見つけ出すという先進的な学びをすることができ、貴重な経験となりました。

建学の精神である「変革者たれ」という言葉のように、自分、地域、社会を変革する変革者になれるようこの学び舎で学んだことを活かし、羽ばたいていこうと思います。

編集後記

今月衆議院選挙、来月には町長選挙が実施されます。私たちの意見や要望は選出された代表者によつて政治に反映されます。候補者の人物や政策を正確に見る眼を備え、大切な自分の一票を進んで投票することが必要です。

金銭的約束や供応などに惑わされたり、義理人情で投票してはならないことは、言うまでもありません。

私たち議員の目指すべき議会は「町民の意思を無視した独善的な行政や無駄づかい、非効率、利権や特権などをエツクできる能力と清潔さを持つ議会、町民の多様な意見が活発に議論され、町民に情報と課題を明らかにし、安全・安心実現のため働く議会」を目指します。

議場における議論や町民の声を公平・公正に掲載し、町民の為に議会を実現してまいります。

(小磯 利雄)



発行・編集責任者
議長 黒田政徳
広報委員会
委員長 塩 史子
副委員長 阿部憲一
委員 北郷幹夫
委員 小磯利雄
委員 遠藤 浩

次の定例会は12月です